



これまでの事業成果と 今後の取組の方向性について

令和2年10月



徳島県鳴門病院

徳島県鳴門病院の歩み

日付		項目	診療科等	高度先進医療機器
H20	10		「助産師外来」開設	
	4		「形成外科」新設	
H21	7	「徳島DMAT指定病院」指定		
	9		「母乳外来」「ベビーマッサージ外来」開設	
H22	10		「手の外科センター」開設	
H23	2			「マルチスライスCT」導入
	10	「地域医療支援病院」承認	「斜視・弱視専門外来」開始	
H25.4.1 「地方独立行政法人徳島県鳴門病院」設立				
H26	2	「総合医療情報システム」稼働		
	3	「鳴門病院地域連携ネットワーク」開始		「画像診断装置MRI」導入
	7	「在宅療養後方支援病院」承認		
	9		「口腔ケア相談室」開設	
H27	1		「糖尿病予防検診」開始	
	10		「糖尿病透析予防外来」開設	
	12			「デジタルマンモグラフィ」導入
H28	4		「総合内視鏡センター」開設	
H29	2	「徳島県医療人材育成機関」認証		
	5	「病院機能評価」認定(3rdG:Ver.1.1) 「災害時の妊産婦・乳児救護所の提供に関する協定」締結		
H30	11		「糖尿病・内分泌センター」開設	
	12		「脊椎脊髄センター」開設	
R1	7			「高精度リニアック」稼働
	9	再編統合の必要性について特に議論が必要な「全国424の公立・公的病院」公表 ※R2.1.17 徳島県鳴門病院除外		
	10		「患者サポートセンター」「医学教育センター」「医療安全センター」開設	
R2	1	「徳島医療コンソーシアム推進協定」締結 ※医師不足の解消や医療資材の購入などの連携に向け、県内の公立・公的13病院が協定書を締結		
	4		「救急科」新設	
	6			「PET-CT」稼働
	9			「術中3Dナビゲーション装置」導入

徳島県鳴門病院の主な取組

・（救急医療）2次救急医療機関

・（周産期）分娩取扱医療機関

・（地域包括ケア）地域医療支援病院
在宅療養後方支援病院
患者サポートセンター

・（特徴のある医療）手の外科センター
脊椎脊髄センター
糖尿病・内視鏡センター

・（がん医療）地域がん診療連携推進病院

・（災害医療）災害拠点病院

医療

基本理念

私たちは 皆さまに
信頼される病院づくりを
目指し安全な医療を親切に
提供することに努めます。



附属看護専門学校

・臨床研修指定病院

・医学教育センター

・日本内科学会教育病院
・日本循環器学会循環器専門医研修施設
・日本外科学会専門医制度修練施設
など計26施設

人材 育成

健康 づくり



健康管理センター

・PET-CT検診
・糖尿病予防検診

・定期健康診断
・生活習慣病予防検診

・メディカルツーリズム

・人間ドック
・日帰り人間ドック
・1日脳ドック
・いきいき人間ドック

① 救急医療

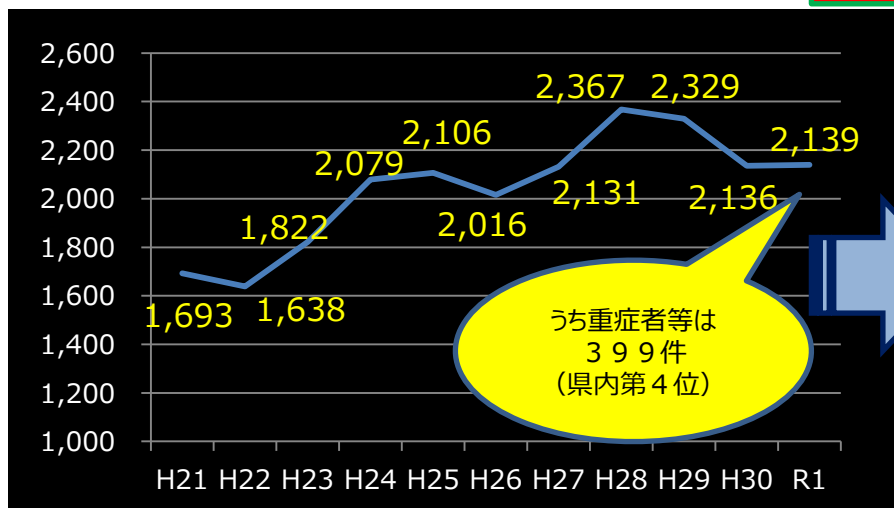


○地域の住民の方々の不安を払拭し、安心して暮らせる、24時間365日の患者受入に対応した、**県下でも有数の「2次救急医療機関」**である。

R2.4には「救急科」を新設

○平成24年度以降、**2,000件を超える救急搬送に対応**しており、平成30年度では、東部Ⅱ医療圏に救急搬送された件数のうち、8割以上（83.6%）を当院で対応している。

東部Ⅱ医療圏の自己完結率（H30・53.7%）の向上が今後の課題



年度	全県順位（重症者等の搬送件数）
H21	①日赤②県中③麻植協④三好⑤鳴門⑥阿南共栄⑦徳大
H22	①日赤②県中③麻植協④鳴門⑤三好⑥阿南共栄⑦徳大
H23	①県中②日赤③阿南共栄④鳴門⑤三好⑥麻植協⑦徳大
H24	①日赤②県中③鳴門④阿南共栄⑤三好⑥麻植協⑦徳大
H25	①日赤②県中③鳴門④阿南共栄⑥三好⑥麻植協⑦徳大
H26	①日赤②県中③鳴門④麻植協⑤阿南共栄⑥三好⑦徳大
H27	①日赤②県中③吉野川④鳴門⑤阿南共栄⑥徳大⑦市民
H28	①日赤②県中③吉野川④阿南共栄⑤鳴門⑥田岡⑦徳大
H29	①日赤②県中③吉野川④鳴門⑤阿南共栄⑥徳大⑦三好
H30	①日赤②県中③鳴門④吉野川⑤阿南共栄⑥三好⑦徳大
R1	①日赤②県中③吉野川④鳴門⑤三好⑥田岡⑦市民徳大

救急搬送件数の推移（徳島県「救急搬送調査」より）

第3期中期計画の
方向性（案）

「救急総合診療センターの整備検討」などにより、
さらなる救急医療体制を強化



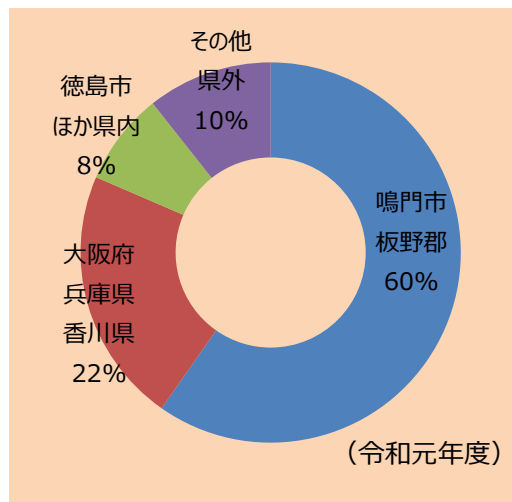
② 周産期医療

うち無痛分娩 24件

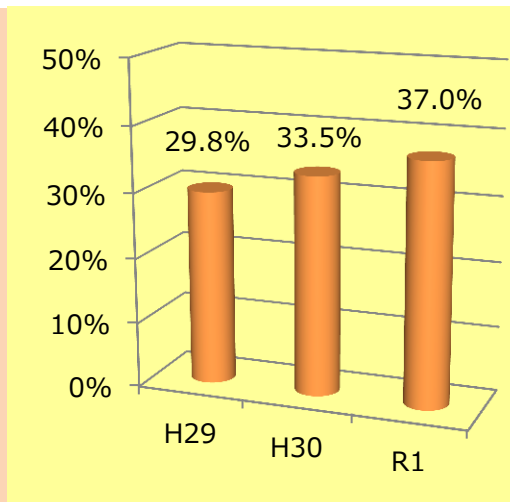
○分娩件数のうち（令和元年度：222件）、約6割を鳴門市・板野郡の方が占めている。その一方で、約1/3が県外在住者となっており、地元地域はもとより、県境を越え、新しい命をはぐくむ、貴重な分娩医療機関となっている。

県内分娩施設数の減少
H16年・30施設 → H28年・18施設

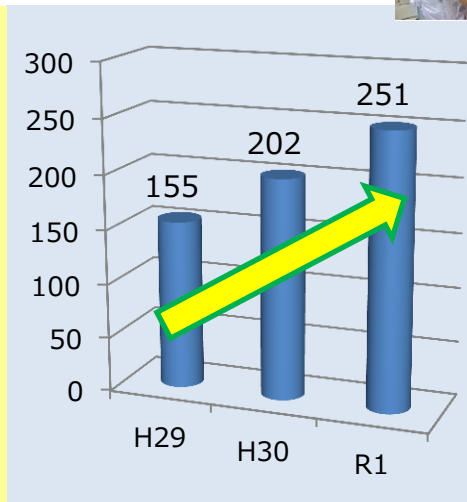
○助産師・母乳外来の実施日を随時拡大し、妊産婦への様々な保健指導や健康管理のアドバイス等にも力を注いでいる。



当院で分娩した方の住所地割合



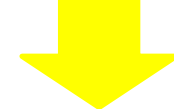
鳴門市民の当院での分娩率



助産師・母乳外来受診者延数

市内で唯一の民間分娩施設も今年3月から分娩を休止

北岸地域での分娩取扱施設は2箇所のみ



第3期中期計画の方向性（案）

産科・小児科の診療体制の一層の充実を図り、地域の中核的な医療機関として役割を果たす。

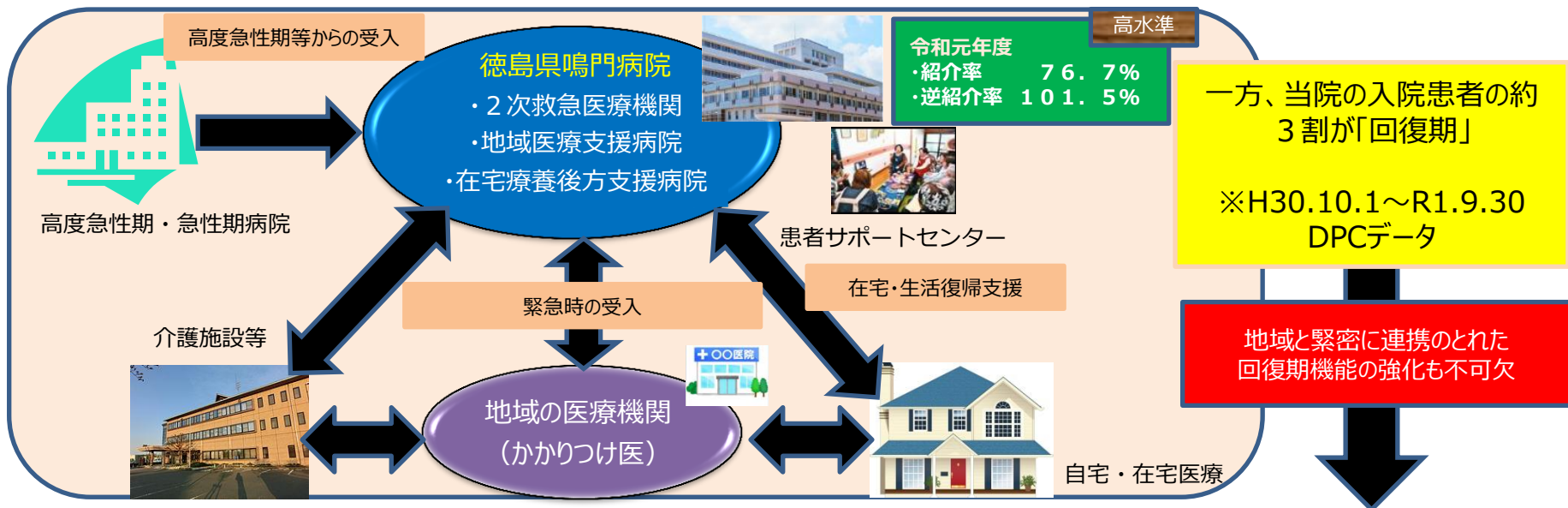


③ 地域包括ケア

○地域の医療機関と連携を図りながら、「**地域医療支援病院**」として、「紹介率」及び「逆紹介率」の向上を図るとともに、「**在宅療養後方支援病院**」として、在宅医療患者の緊急入院などの症状悪化時でも、スムーズに対応できる体制を確保している。

R1.10設置

○地域医療連携・医療福祉相談機能に加え、入院時サポート及び看護相談支援機能を備え、多職種が連携した総合的かつ一体的サポートを行う「**患者サポートセンター**」を設置している。



④ 特徴のある医療（整形外科分野等）

- 「**手の外科センター**」において、医師・看護師・作業療法士といった多職種が一体となって迅速かつ高度な治療を提供している。
- 「**脊椎脊髄センター**」において、難易度の高い手術を行うとともに、理学療法士による患者の方々の状態に応じたリハビリの実施により、地域センター的機能を発揮し、質の高い医療を推進している。
- 「**糖尿病・内分泌センター**」において、糖尿病・内分泌専門医、糖尿病看護認定看護師、管理栄養士、MSW等による多職種のチーム医療を提供している。



手の外科センター

年間600件以上

県外からの紹介患者にも対応

H22.10開設



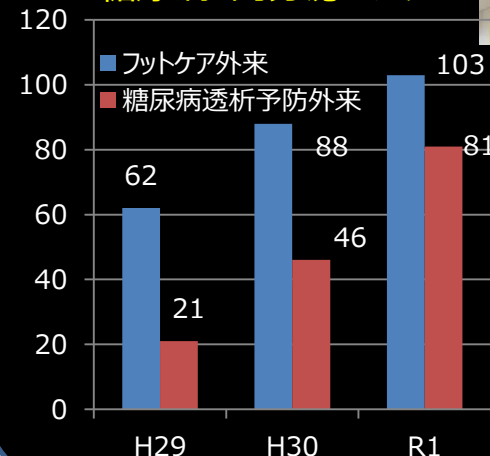
脊椎脊髄センター

H30・316件 ⇒ R1・498件

四国一の手術件数

H30.12開設

糖尿病・内分泌センター



H30.11開設

第3期中期計画の
方向性（案）

手の外科センター、脊椎・脊髄センターなど**特色のある**
医療をさらに推進し、質の高い医療を提供する。

④ 特徴のある医療 (リハビリテーション)

○「理学療法士」、「作業療法士」および「言語聴覚士」が医療スタッフとチームを組み、医師の指示のもとに、患者の方々それぞれの症状に合わせてリハビリテーションを実施している。また、整形分野の高度専門医療にも対応したリハビリを実施している。



○急性期からのリハビリテーションとして、脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患、がん患者リハビリテーションなどの総合的なリハビリテーションを行っている。



安全な社会復帰に向けた最適なリハビリテーションを提供

資格取得 (～2020)

認定理学療法士 (運動器・代謝分野)
JASAアスレティックトレーナー
呼吸療法認定士
糖尿病療養指導士
がんリハビリテーション認定
公認心理士
離床学認定離床アドバイザー

優秀な知識と技術

受賞歴 (2016～2020)

徳島大学大学院 康楽賞受賞
第57・58回全国自治体病院学会
優秀演題発表
第42・46回四国理学療法士学会
学会長賞

理学療法士 (PT)
10名

言語聴覚士 (ST)
3名

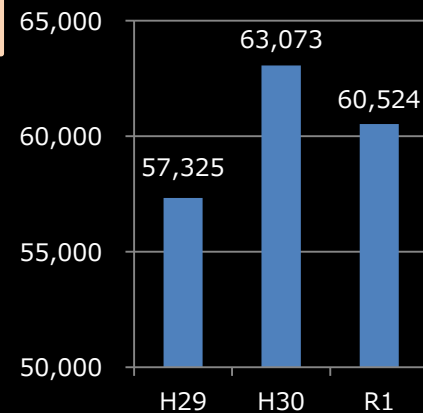
作業療法士 (OT)
5名

入院患者のリハビリ依頼件数は、同規模の病院の「約1.5倍」!
(入院患者の65%にリハビリを実施)

最適なリハビリ

健康増進を目的とした地域貢献事業も実施

リハビリ件数 (入院+外来)



第3期中期計画の
方向性 (案)

急性期や回復期など、それぞれの時期や患者の方々の状態に応じた、適切なリハビリテーションのさらなる充実を図る。



⑤ がん医療

○「**地域がん診療連携推進病院**」として、「高精度リニアック」及び「PET-CT」を導入し、がん診療連携拠点病院と連携した放射線治療の対応疾患の拡大に取り組んでいる。

※最新鋭のドイツ、シーメンス社製のフローモーション（速度可変型寝台連続移動）を搭載したPET-CT装置を、**徳島県で初めて導入**。

R1.7稼働

R2.6稼働



フルセットの
がん診療

がん診療機能一覧

	治療			施設				
	手術	化学療法	放射線治療	リニアック	PET	RI	緩和ケア病棟	
徳島県鳴門病院	○	○	○	○	○	○	● (中期計画案)	地域がん診療連携推進病院
徳島大学病院	○	○	○	○	○	○		がん診療連携拠点病院
県立中央病院	○	○	○	○	○	○		がん診療連携拠点病院
徳島市民病院	○	○	○	○	○	○	○	がん診療連携拠点病院
徳島赤十字病院	○	○	○	○	○	○		がん診療連携拠点病院
県立三好病院	○	○	○	○			○	地域がん診療病院

第3期中期計画の
方向性 (案)

リニアック、PET-CTを有効活用した**がん診療拠点の整備**
及び、**外来化学療法の拡大、緩和ケア病床の導入**



⑥ 災害医療

○災害時に重篤救急患者等の救命救急医療を行う、「災害拠点病院」である。

吉野川北岸地域
で唯一

○大規模災害等に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた**災害派遣医療チーム（DMAT）を2チーム保有**している。

○災害時における妊産婦・乳児の一時的な受入れや避難生活の支援等を行う「妊産婦・乳児救護所」の開設場所として、附属看護専門学校を提供する。



鳴門市と協定締結（H29.5）

<東日本大震災>

- ・DMAT派遣（H23.3.12～13）※SCU活動（岩手花巻空港）
- ・医療救護班派遣（4/13～15）
- ・災害支援ナース派遣（3/29～31、4/4～6、25～27）
避難所活動（宮城県石巻市）



<熊本地震>

- ・医療救護班派遣（H28.4.26～4.30）※阿蘇医療センターほか

<令和2年7月豪雨災害>

- ・DMAT派遣（R2.7.10～12）※熊本県人吉市

被災地支援に貢献

救命救急医療

災害用備蓄
（3日分）

一時的な避難所の
役割も担う



徳島県鳴門病院
（災害拠点病院）

津波浸水区域
のため早急に
対策が必要

第3期中期計画の
方向性（案）

災害拠点病院の機能を最大限活かすために、「ヘリポート」、
「津波防潮堤」等、災害対応能力の抜本的な強化・整備を検討する。



⑦ 質の高い看護師の養成

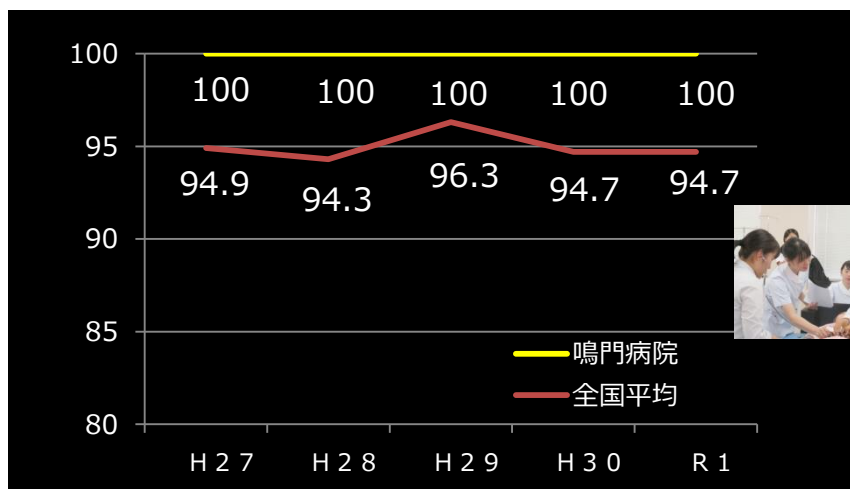
○看護師養成所を併設し、**質の高い看護師を養成する県内で数少ない医療機関**である。
令和3年度からは、東徳島医療センター附属看護学校の閉校により、県内唯一となる。

○附属看護専門学校は、**8年連続・看護師国家試験・合格率100%**であり、
当院のみならず、**県内各地に優秀な人材を輩出**している。

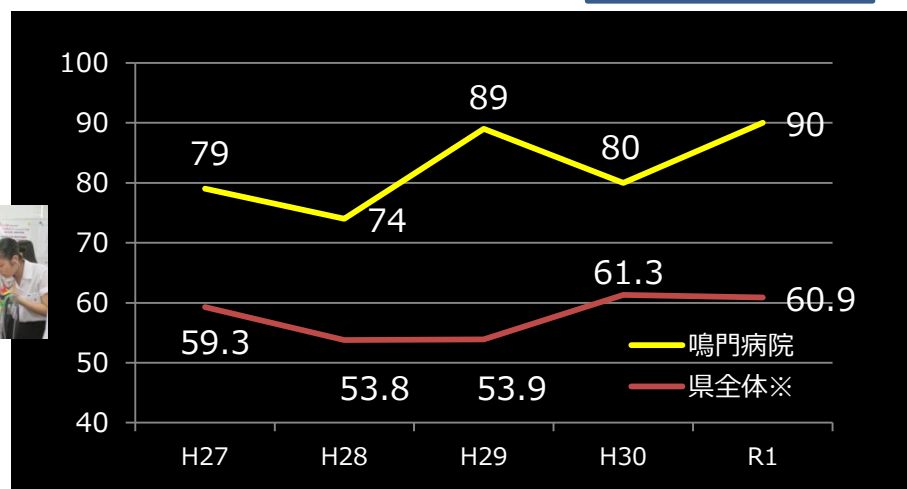
寮を完備



恵まれた実習環境



看護師国家試験合格率（新卒）



県内就職率

※県内の看護師等養成所における看護職としての県内定着率

第3期中期計画の
方向性（案）

県立総合看護学校とのさらなる連携強化による
優秀な看護学生の確保及び質の高い教育の実現



⑧ 健康づくり

○病院と健康管理センターが有機的に連携した、「一次予防」(健診) から「二次予防」(検診) や「三次予防」(リハビリ) にまで対応した、県民の「病気予防」に貢献。

県内で唯一

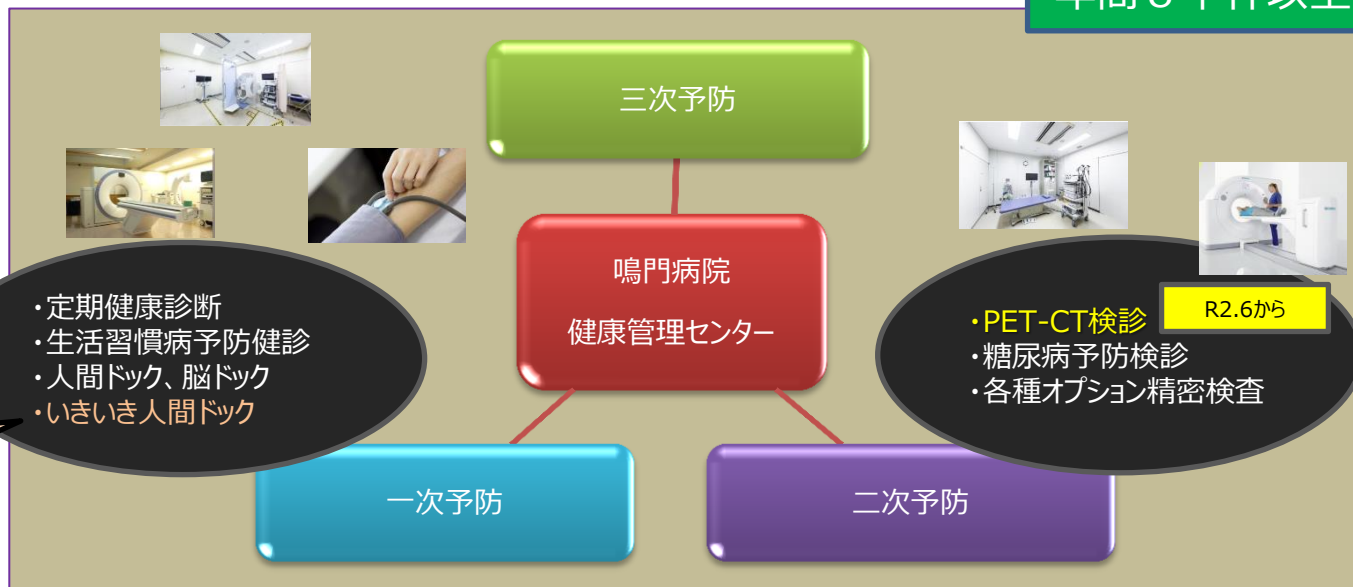
○巡回検診車を活用し、県内各地での一般健診や生活習慣病予防健診を支援している。

年間 8 千件以上

各種健診	10,846
人間ドック	2,612
脳ドック	265
検診車	8,337
特定保健指導	410
計	22,470

健康管理センター受診者数
(R元年度)

退職後も安心して健康チェックを継続できるよう、検査項目を厳選し、負担額を抑制。



第3期中期計画の
方向性(案)

高度医療機器を活用した人間ドック事業の推進及び
地域と一体となった健康づくり拠点の整備推進

